

論文式試験問題集
〔一般教養科目〕

[一般教養科目]

以下の2つの文章を読んで、後記の各設問に答えなさい。

[A]は、神取道宏『経済理論は何を明らかにし、どこへ向かってゆくのだろうか』の冒頭部分である。

[A] (省略)

[B]は、マックス・ウェーバー『社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」』の一節である。筆者は、文化事象(社会現象と同義。)を取り扱う社会科学には、自然科学とは異なるアプローチが求められるとして次のように説く。

[B] (省略)

[設問1]

[B]の筆者が、下線部にあるように、社会科学においては「(省略)」と主張する理由について、文化事象(社会現象と同義。設問2においても同じ。)の具体例を挙げつつ、10行前後で説明しなさい。

[設問2]

[A]で示唆されている科学観から、[B]の下線部に対して反論しつつ、社会科学においても「文化事象を「客観的」に取り扱うことには意味がある」とする立論を10行前後で記述しなさい。

【出典】[A] 日本経済学会編『日本経済学会75年史—回顧と展望』